

「第3次大石田町子ども読書活動推進計画(案)」に対する意見の概要及び意見に対する町の考え方(回答)

No.	内容項目	目次項目	該当箇所等	意見	町の考え方(回答)
1	内容について	はじめに		「はじめに」15行目、「子どもの読書にかかわる市内の課」とは、どの課か。具体的に記載した方が分かりやすい。	取り組みの広がりによって関係する課が変わるため、具体的な記載は避け、幅広い課とのかわりが生まれることを想定している。
2	内容について	1(1)	P1の13行目	デジタル社会に対応した読書環境の整備とは具体的にどのようなものになるのか、情報の共有をしてほしい。勉強会や発表会等に参加されたのであれば、それをどのようにとり入れていくか。今後発展していくことだと思うので、様々な考え方を学ぶ必要があると思います。私個人の現在の考えですと、山形県は「読み上げソフト」の活用がとてとても遅れていると思います。先生方の理解もどうなんだろうかと感じます。縦書きを読むのが得意、横書きを読むのが得意というのは誰でもあるように、まったく苦手という人もいます。少ないですがいます。学校の授業にもタブレットは使用していますが、デジラー等の活用はいまひとつつされていません。読み上げてもらえればわかる子がいます。図書館からぜひ「読みあげ」の利点を発信していただければと思います。	「デジタル社会に対応した読書環境の整備」について、国や県の計画で示されており、具体的には、電子書籍やデータベースなどのデジタル資料の導入、デジタルアーカイブの充実、学校向けの副読本のデジタル化のほか、ホームページやSNSなどICTを活用した情報発信やオンラインイベントの開催などが挙げられる。また、学校図書館のDX化やICTの専門家を含む人材との連携などについても触れられている。 町の計画では、町立図書館の取り組みにおける「資料の充実」の中で、「デジタル資料や障がいのある子ども等誰もが利用しやすい資料の整備を図ります」と記載している。また、県の計画で、「デジタル社会に対応した多様な読書活動についての理解を促進するため、教職員等を対象として情報提供や研修会を行います」という今後の取り組みが明記されているため、国や県におけるこのような学習機会を活用し、町としても参加していく旨が記載できると考える。また、「読み上げソフト」については、県の計画において「アクセシブルな図書・教材を共有する仕組みを検討します」という文言があり、同様に活用の検討について記載する。
3	内容について	1(2)	P1	下段囲みの中の9行目、(H20.6.6)とは、何の日	平成22年を「国民読書年」とする国会決議が行われた日だが、1行目にある国会決議には日付が明記されていないため、9行目についても同様に日付を削除する。
4	内容について	2(2)	P3下から12行目	コロナの文言が気になりましたが、国が挙げている文言ということだったのでしょうがないのかな？	国の第5次計画、県の第4次計画にも挙げられている文言で、読書への影響が少なからずあったことを示すために必要な文言と考える。
5	内容について	2(2)	P3	子どもを取り巻く環境の現状と課題に、「GIGAスクール構想」、「デジタル化の進展」、「読書・リアフリー法の趣旨」と記載されているとおり、避けては通れない環境の変化にどう対応していくのか、もう少し踏み込んで計画に盛り込むべきと感じます。 ※県の第4次計画P18に記載されています。	県の第4次計画において、「公立図書館(室)及び学校図書館等におけるDX推進と、デジタル社会に対応した読書環境の整備・充実」が柱として掲げられており、町としても、町立図書館や学校図書館等において実現可能な部分を盛り込みたいと考える。 県の施策としては、公立図書館における環境等の整備・充実(県立図書館での電子書籍やアクセシブルな書籍の整備・充実、非来館サービスの充実、図書館のDXに関する研修会開催)や、学校・園等における環境等の整備・充実(学校図書館のDXの推進、教職員等を対象とした情報提供や研修会開催、アクセシブルな図書・教材を共有する仕組みの検討等)が具体的に上げられている。町として、県の方向性を踏まえた記述を盛り込む。
6	内容について	2(2)	P4上から7行目	「朝読書などが長年継続して実施されており」→現在は中学校のみが実施しています。(多分)中学校1校でも、この文面は大丈夫ですか？	小学校でも朝読書が行われている。中学校では、令和6年度まで朝読書が行われてきていたが、令和7年度から朝読書がなくなり、一斉読書の時間を別に設ける予定ということで、文言の修正を行う。
7	内容について	2(6)	P7	「家庭、保育園、地域、小中学校」それぞれの役割を果たすことによって、子ども読書を推進するとあるが、P7の「子どもの読書活動推進のための取り組み」の中に、地域での取り組みという見出しを設けて記載すべきではないか。 ※地域っていっぱい出てくるけど、子ども読書の推進のために、地域では何をすればいいの、わかりやすく記載してほしい。 ※県の第4次計画には、P9に「地域における子どもの読書活動の推進」と、項目を起こして記載されている。	県の計画では、「家庭・地域・学校などを通した社会全体での多様な子どもの読書活動の推進」について「家庭」「地域」「学校・園等」の3つの項目に分けて記述しており、「地域」の項目の中に公共図書館(室)や公民館、コミュニティセンター、民間団体等が含まれている。町の計画では、地域の取り組みとして「町立図書館」「その他の機関団体(公民館、児童館、ボランティアなどを含める)」を項目として挙げており、より具体的に図書館やその他の機関団体で地域の取り組みを示している。「地域」における取り組みであることがより分かりやすいように、「その他の機関団体における取り組み」の項目について、「その他の、地域の機関団体等における取り組み」と修正する。
8	内容について	2(6)① ⑦～⑧	P7	①家庭における取り組み ⑦～⑧までの取り組みをどのような形で家庭に啓発していくのでしょうか？家庭では、このような取り組みがあることを知らないと思うので。	家庭への啓発については、「各団体をととして」家庭で行われる取り組みのため、各団体及び委員会事務局において啓発していく。なお、各団体をととして、それぞれの取り組みをたよりなどで家庭へ周知しているため、委員会事務局として、各団体の家庭における取り組みについて、町広報誌や町公式ホームページなどで全体的に周知していく。
9	内容について	2(6)④オ ⑤ア	P10の上から1行目と下から2行目	「子育て支援センター等」とは、何を指すのか。〇〇センターがいっぱいあって、町民の方はピンとくるだろうか。	町内にある子育て世代向け施設について、正式名称は「子育て世代包括支援センター」だが、「〇〇センター」が多くあり分かりづらいこともあるため、「子育て支援施設」と表記を修正する。

「第3次大石田町子ども読書活動推進計画(案)」に対する意見の概要及び意見に対する町の考え方(回答)

No.	内容項目	目次項目	該当箇所等	意見	町の考え方(回答)
10	内容について	2(6)		保育園、小学校に加え、放課後子ども教室や放課後子どもクラブも活用して読書推進を図ってどうか。 ※県の第4次計画にも記載されている。	P11⑤の「その他の機関団体における取り組み」として、イ「公民館、児童館、地域文庫等」を記載しているが、児童館の他に、放課後子ども教室や放課後児童クラブについても追記する。
11	内容について	2(9)	P11(9)今後の課題	下段に子供についての課題があるのですが、大人についての課題を明記しなくてもいいのでしょうか。なければいいのですが。	(9)の今後の課題については、大人も含めた課題として複数挙げている。「子どもの主体性・自主性を重んじた読書活動推進」と「全ての子どもの参加のしやすさを考慮した取り組みの推進」の二つについては、子どもに特化した課題として、町子ども読書活動推進委員会でのアンケート結果での課題及び国の基本的方針の一項目や県で挙げられている施策を鑑みて取り上げている。
12	字句について	2(1)	P3上から13行目	読書活動ができたりする→できる	直前の文面で「電子媒体を柔軟に選択できたり」とあるため「できたりする」のまま。
13	字句について	2(6)③ウ	P8	21行目に「学校図書館図書基準」とあるが、「学校図書館図書標準」とは違う指標なのかなあ。	正しくは「学校図書館図書標準」であり、修正する。
14	字句について	2(6)④ク ⑤イ	P10のクとP11のイ	「」は、一段マスを開けないで書くといひのではと思います。	→段落の始まりのため、一字マスを開けて書く(会話文ではなく地の文の場合)。
15	計画全体について			数値目標が示されていないと検証が困難ではないか。また、町民に対してわかりやすい計画とするには、数値目標が必要ではないか。	数値目標として、毎年実施されている全国学力調査(小学5年生・中学2年生)の読書に関する項目が数項目あり、それを採用している自治体の計画もある。大石田町の場合、母数となる児童・生徒数が80名程と少ないため、あまり参考にならないのではないかという意見があり今回は採用していない。例えば、町立図書館の基本計画では、日本図書館協会が出されている基準値から蔵書数の目標値を挙げており、町立図書館のみであれば目標値は設定可能であると考えられるが、家庭・保育園・学校・町立図書館の4つの大きな枠組みの中で数値設定をするのは難しいものがある。そのため、当町では、年度ごとに各団体において、具体的な目標を設定する「推進計画」を作成し、年度初めと終わりに委員会全体で内容や課題などを共有し、取り組みについて検証を行っている。数値目標について今後委員会内で検討を進めていく。
16	大石田町子ども読書活動推進委員会について			保育園の先生は毎年、学校の先生方も数年に一度、母親委員もほぼ毎年替わります。続けていることはとても大切だと思います。毎年毎年同じことを話し合ったとしても、とても力になっていると感じます。(特に保育園)	大石田町子ども読書活動推進委員会の会議は、組織化・情報共有・連携を目的に開催しており、計画に則り今後も継続開催していく。